

2019年度 大阪医科大学 (前期)

医学部

試験時間：100分

📖 全問必答

1 $\triangle ABC$ は、3 辺の長さ $BC = a$, $CA = b$, $AB = c$ が整数で $\angle BAC = \frac{\pi}{3}$ を満たすとする。

- (1) $ab = 21$ を満たすような (a, b, c) をすべて求めよ。
- (2) $a + b + c = \frac{bc}{2}$ を満たすような (a, b, c) をすべて求めよ。

2

- (1) $t \geq 0$ のとき、不等式 $\frac{t^2}{2} < e^t$ を示せ。
- (2) 実数 c に対して、直線 $y = c$ と関数 $y = (x^2 - 1)e^{-x^2}$ のグラフとの共有点の個数を求めよ。

3 さいころを 4 回投げて出た目をそれぞれ Z_1, Z_1', Z_2, Z_2' とし、 $X_i (i = 1, 2)$ を次のように定義する。

$$X_i = \begin{cases} Z_i & (Z_i \geq 4 \text{ のとき}) \\ Z_i + Z_i' & (Z_i \leq 3, Z_i + Z_i' \leq 6 \text{ のとき}) \\ 6 & (Z_i \leq 3, Z_i + Z_i' > 6 \text{ のとき}) \end{cases}$$

- (1) X_1 がとりうる値とそれぞれの確率を求めよ。
- (2) $Z_1 = 1$ のとき、 $X_1 + X_2 = 6$ である条件付き確率を求めよ。
- (3) $X_1 + X_2 = 6$ のとき、 $Z_1 = 1$ である条件付き確率を求めよ。

4

- (1) A, O を $AO = 1$ を満たす平面の定点とし、 C を O を中心とする半径 $a (a < 1)$ の円とする。点 P が、
条件：線分 AP と円 C との共有点が P のみである
を満たすように C 上を動くとき、線分 AP の長さの最大値と最小値を求めよ。
- (2) A, O を $AO = 1$ を満たす空間の定点とし、 S を O を中心とする半径 $a (a < 1)$ の球面とする。 S 上の点 P で、
条件：線分 AP と球面 S との共有点が P のみである
を満たすものと考えて、すべての P に対する線分 AP の和集合を K とする。 K の体積 V を求めよ。

5 i を虚数単位とし、複素数 z に対し、 \bar{z} , $\arg z$ をそれぞれ z の複素共役、偏角とする。

- (1) $|w_1| = |w_2| = 1$ である複素数 w_1, w_2 に対し、 $\theta = \arg \frac{w_1}{w_2}$ とするとき、
 $|w_1 - w_2| = 2 \left| \sin \frac{\theta}{2} \right|$ を示せ。
- (2) $\alpha = -1, \beta = \frac{1 + \sqrt{3}i}{2}, \gamma = \bar{\beta}$ とする。複素数 z が $|z| = 1$ を満たすように動くとき、
 $|z - \alpha| + |z - \beta| + |z - \gamma|$ の最大値と最小値を求めよ。

2019年度 大阪医科大学 (前期)**医学部**

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $(a, b, c) = (7, 3, 8)$

(2) $(a, b, c) = (7, 8, 5), (6, 6, 6), (7, 5, 8)$

2

(1) 証明は省略

$$(2) \begin{cases} c < -1, \frac{1}{e^2} < c \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \\ c = -1 \text{ のとき} & 1 \text{ 個} \\ -1 < c \leq 0, c = \frac{1}{e^2} \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ 0 < c < \frac{1}{e^2} \text{ のとき} & 4 \text{ 個} \end{cases}$$

3

(1) $X_1 = 2, 3, 4, 5, 6$, それぞれの確率は $\frac{1}{36}, \frac{1}{18}, \frac{1}{4}, \frac{1}{4}, \frac{5}{12}$

(2) $\frac{1}{18}$

(3) $\frac{6}{11}$

4

(1) 最大値: $\sqrt{1-a^2}$, 最小値: $1-a$

(2) $\frac{1}{3}\pi a^2(a-1)^2$

5

(1) 証明は省略

(2) 最大値: 4, 最小値: $2\sqrt{3}$